

病院理念：信頼と満足の創造

看護部理念：個人の尊重と心のこもった看護

看護部教育理念：心豊かな人間性を養い、患者・家族の人権を守り、安全で質の高い医療・看護を提供できる看護師を育成します

リーダークラス		レベルI	レベルII	レベルIII	レベルIV
育成能力	達成目標	・職場の指導・教育を受けながら、看護実践を行うことができる。	・職場の臨床場面において、看護実践を一人前に実践できる。	・優秀な看護実践に加えて、組織的な役割遂行を実践できる。	・職場においては、卓越した看護実践を実施し、組織的にも広範囲な役割遂行ができる。
	知識・技術	・指導を受けながら基本的看護技術を用いて看護ケアが実践できる。	・職場で、日常的に必要とされる看護実践は、ほぼ単独で実践できる。	・職場で、高度な看護実践を行うことができる。 ・職場で、モデル的な看護実践の教示することができる。	・論理的知識と実践的知識を応用し、患者の満足度を向上させるような看護を提供実践できる。
看護実践能力	看護過程・看護記録	・指導を受けながら、必要な情報からアセスメントし看護計画を立案できる。 ・指導を受けながら、記録の基本を習得し基準に沿って記録できる。	・患者データから、根拠を持ったアセスメントを行い、全体像を捉えた看護過程を展開できる。	・リーダーシップを発揮し、科学的根拠に基づき、個別性のある看護過程を展開できる ・看護計画の妥当性と看護記録の適切性が評価できる	・個別性のある看護過程を展開し、看護実践の役割モデル・教育的関わりができる。 ・看護記録質監査を通して、自部署の看護の質を考えることができる。
	看護倫理	・「看護者の倫理綱領」の概要がわかり、指導を受け倫理面に配慮できる。	・臨床の場面で、倫理的問題に気づき、チームに提起できる。	・倫理的問題が生じた場合、その問題をどうすべきか判断し対処することができる。	・倫理的問題を積極的に対処し、教育的役割を果たすことができる。
	救急	・異常を察知し、緊急性を判断できる。 ・一次救命処置を実施できる。	・迅速で的確な看護判断に基づき看護実践ができる。 ・2次救命処置チームの一員としての行動がとれる。	・根拠を持った看護の実践とリーダーシップが発揮できる。 ・患者や家族の心理的配慮ができる。	・職場内で急変時の対応について教育や指導に取り組むことができる。
	がん看護	・地域がん診療連携拠点病院の機能・役割を理解することができる。	・がん看護に関する基礎知識を習得し、実践に活用することができる。 ・リンクナースの活動ができる。 (緩和ケアリンクナースは3年以上が対象)	・リンクナースの活動ができる。 (がん化学療法リンクナースは5年以上が対象) ・がん看護の実践において、リーダーシップを発揮することができる。 ・がん医療におけるチーム内の倫理的問題に気づき、課題に取り組むことができる。	・がん看護に関する専門的知識を習得し、がん看護実践モデルとなる。 ・がん医療におけるチーム内の倫理的問題に対処し、教育的役割を果たすことができる。
	褥瘡	・褥瘡好発部位が理解できる。 ・褥瘡対策マニュアルが理解できる。 ・褥瘡発生リスクアセスメント、褥瘡対策計画書、褥瘡予防治療計画書を入力できる。	・褥瘡のアセスメントを行い、褥瘡対策マニュアルに従って看護が展開できる。 ・褥瘡対策計画を正しく入力し指導できる。 ・褥瘡ハイリスク患者の予防治療計画を正しく入力し、指導できる。 ・体圧分散寝具の種類を理解し選定できる。 ・褥瘡予防ケアを実行できる。	・褥瘡の変化を基にケアの妥当性を評価できる。 ・個別性を踏まえた褥瘡ケアが展開できる。 ・褥瘡ケアにおいて部署内でのリーダーシップを発揮できる。	・褥瘡の変化を的確に判断し、看護実践モデルとなる。
	退院調整	・退院支援の流れを理解できる。 ・スクリーニングの内容を理解できる。	・退院支援計画書を立案できる。 ・退院支援の段階に沿った関わりができる。 ・在宅のイメージを持って、看護ケアを展開できる。	・意思決定に関わるアプローチができる。	・退院支援についての指導ができる。 ・退院調整に関わる書式・指導料の管理ができる。
組織的役割遂行能力	役割・責任	・指導を受け、メンバーとしての行動がとれる。	・チームの一員としてメンバーシップを発揮した行動がとれる。 ・プリセプターシップを理解し、新人に指導できる。 ・リーダートレーニングに入れる。	・チームリーダーとしての行動がとれ、役割モデルが果たせる。 ・学生・後輩の学習ニーズを把握し、臨床指導者としての役割が発揮できる。	・職場の問題を把握し、その解決達成において中心的役割を果たすことができる。 ・職場の教育活動に自発的に取り組むことができる。
	医療安全	・医療事故防止マニュアルを理解し、指導・助言を受けながら実践できる ・看護実践において、安全についての確認を求められることができる	・医療事故防止マニュアルに基づき、基本的な安全対策を実践できる ・インシデント、アクシデントの分析手順を理解し、対策を立案できる。	・医療安全に関する教育・指導ができる。 ・リンクナースとしての役割を果たすことができる。 ・多職種の役割を理解し、連携ができる。	・医療安全についてリーダーシップが発揮でき、部署の課題達成のための行動がとれる。
	感染	・標準予防策（スタンダードプリコーション）の概念を理解できる ・部署内で実施されている感染対策を遵守できる	・マニュアルを活用し、感染対策を考慮した看護援助が展開できる ・標準予防策が実践できる ・経路別予防策が理解できる ・積極的に感染対策に取り組める。 (リンクナースとして活動できる)	・疾患に対応した感染対策を展開できる。 ・職場の特殊性を考慮した環境整備、物品管理ができ、感染対策が提供できる職場環境を整えることができる。	・院内における感染動向を把握し、予防的な対策を提案できる。 ・リーダーシップをとり、感染対策が実践できる。
	災害	・災害医療マニュアルで発災時の院内体制を知り、指示により行動できる ・院内消防計画を参考に消防設備を把握し、火災発生時の初期行動ができる。	・災害医療マニュアルに基づき、急性期に必要な医療活動がかわる。	・災害時の看護師の役割を理解できる。	・災害時の部署の中心となってリーダーとして行動できる。
自己教育・研究能力	自己啓発・看護教育	・自己の教育的課題を指導によって発見することができる。 ・自分が関わった事例のプロセスレコードを記述できる。	・自己の教育的課題達成に向けた教育活動を展開することができる。 ・実践した看護事例をまとめ、職場内で発表することができる。 ・実践した看護事例の中でテーマを見つけ、焦点を絞って研究的にまとめ、研修内で発表することができる。	・自己の教育活動に積極的に取り組むとともに、教育活動について指導的な役割を実践することができる。 ・研究的視点で複数の事例をまとめ、院内あるいは院外で発表することができる。	・単独で専門領域や高度な看護技術等についての自己教育活動を展開することができる。 ・チームで行う研究のリーダーシップをとることができる。 ・自ら事例研究に取り組み、まとめ、院外で発表することができる。